



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月12日

上場会社名 株式会社 ティーツー

上場取引所 東

コード番号 7610 URL <https://www.tay2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 克治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 青野 友弘

TEL 048-933-3070

四半期報告書提出予定日 2021年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	17,988		887		907		721	
2020年2月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	11.03	
2020年2月期第3四半期		

(注1) 2020年2月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年2月期第3四半期の数値及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(注2) 包括利益 2021年2月期第3四半期 784百万円(-%) 2020年2月期第3四半期 - 百万円(-%)

(注3) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	8,437	3,630	43.0	53.41
2020年2月期				

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 3,630百万円 2020年2月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500		950		950		750		11.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は2021年2月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。また、連結決算移行に伴う連結業績予想の公表につきましては、本日開示いたしました「連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社山徳、株式会社着物インターナショナル、除外 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年2月期3Q	67,992,000 株	2020年2月期	58,192,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年2月期3Q	7,478 株	2020年2月期	347,478 株
------------	---------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	65,405,031 株	2020年2月期3Q	株
------------	--------------	------------	---

(注) 当社は2020年2月期第3四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、「期中平均株式数(四半期累計)」を記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動が制限され景気は急激に後退しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動のレベルを段階的に引き上げておりましたが、その後日、第三波の到来とも言われるように新型コロナウイルス感染症の感染者数が再び増加に転じ、終息時期が見通せないことにより依然として先行き不透明な状況が続いております。その状況下におきまして、当社グループはお客様及び従業員の安全を確保するため、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保、アルコール消毒等、関係機関からの指針に従って安全に十分に配慮しながら商品・サービスを提供いたしました。

このような経営環境の中で、当第3四半期連結累計期間の売上高は、古本・新中ゲームなどの巣籠り需要が急速に高まったことに加えてECの売上が伸長したことも併せ、好調に推移いたしました。特に新品ゲームにおきましては、ヒットタイトルの継続的な人気による影響も重なり、前年同期に対して、大きく伸長し、全体として前年同期を上回ることができました。営業利益につきましては、事業構造改革による販管費抑制を継続しつつ、前述のような主力商材の売上増及び各商材の粗利率が向上したことにより、利益面でも大きく上回ることができました。

以上の個別業績の結果に加え、子会社の株式会社山徳及び株式会社着物インターナショナルの業績7月～9月の3ヵ月間を合わせた当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高179億8千8百万円、営業利益8億8千7百万円、経常利益9億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千1百万円となりました。

(事業の概況)

当社は、「収益改善」を最優先課題として位置付け、各種施策に取り組んでまいりました。当社の粗利の大きなウエイトを占めている古本におきましては、コミックに対して文芸・文庫の売場構成比率を高めるなど、最近の顧客ニーズを反映したレイアウト変更を継続的に実施しております。また、中古ゲーム・中古トレカにつきましても、売れ筋や在庫等を勘案した価格設定を実施しており、これらの商材が売上及び粗利の増加に貢献いたしました。

このような従前の施策《リユース注力》に加え、《商材多様化》《EC販路拡張》《海外販路構築》《B to Bビジネス構築》を柱とする新たな中期経営計画を策定・公表し(2020年2月25日)、様々な施策に着手しております。海外につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中断状態ではありますが、その他におきましては、将来に向けての布石として、モバイル商材の全店展開や一部店舗への古着・雑貨の導入等、現行商材との融合を意図しながら、既存店舗の変革を図るとともに、独自のトレカ査定システム(T a y s)の開発をはじめとする、システムインフラへの投資にも着手しております。また、2020年6月にはEC事業に強みを持つ株式会社山徳を子会社といたしました。

新規出店につきましては、2020年3月ふるいちトキワ荘通り店、5月ベクトル潮芦屋店、6月ふるいちイオンモール川口前川店、9月ふるいち川越クレアモール2号店、10月トレカパーク朝霞店等、これまでとはコンセプト・パッケージの異なる小型店舗を新たな試みとして機動的に展開しております。取得からおよそ半年経過しましたベクトル潮芦屋店は既存の衣料品の売上を棄損することなく、スペースの一部をふるいち潮芦屋店として商材を追加投入し、より効率的な店舗に進化させました。

さらに、2020年6月に子会社化した株式会社山徳の協力のもとコーポレートサイトをリニューアルし、同社がこれまでの事業運営で培ってきたWebサイト制作の知見を最大限に取り入れたページとしてバージョンアップしました。今後も、EC事業及び事業連携の強化を通じて、相互シナジーを発揮し、新生ティーツーグループとして、より一層の企業価値向上を目指してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は84億3千7百万円、負債合計は48億6百万円、純資産は36億3千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期第2四半期より連結決算に移行いたしましたので、本日付で2021年2月期連結業績予想を公表いたしました。詳細は、本日付の「連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,734,754
売掛金	466,368
商品	3,393,430
貯蔵品	15,646
その他	478,734
流動資産合計	6,088,935
固定資産	
有形固定資産	594,360
無形固定資産	
のれん	197,192
その他	150,500
無形固定資産合計	347,693
投資その他の資産	
差入保証金	1,025,180
その他	380,876
投資その他の資産合計	1,406,056
固定資産合計	2,348,110
資産合計	8,437,046
負債の部	
流動負債	
買掛金	594,456
短期借入金	500,000
1年内返済予定の長期借入金	669,660
未払法人税等	170,039
賞与引当金	14,400
ポイント引当金	87,753
資産除去債務	17,696
その他	521,828
流動負債合計	2,575,832
固定負債	
長期借入金	1,369,855
退職給付に係る負債	299,542
資産除去債務	491,592
その他	69,227
固定負債合計	2,230,217
負債合計	4,806,050

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,493,489
資本剰余金	1,254,896
利益剰余金	798,395
自己株式	△304
株主資本合計	3,546,476
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△6,777
退職給付に係る調整累計額	91,297
その他の包括利益累計額合計	84,519
純資産合計	3,630,996
負債純資産合計	8,437,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	17,988,540
売上原価	12,267,807
売上総利益	5,720,733
販売費及び一般管理費	4,833,558
営業利益	887,174
営業外収益	
受取利息	1,806
受取配当金	445
受取賃貸料	51,992
持分法による投資利益	23,939
その他	10,958
営業外収益合計	89,142
営業外費用	
支払利息	18,693
不動産賃貸費用	45,009
支払手数料	4,000
その他	1,017
営業外費用合計	68,720
経常利益	907,596
特別損失	
固定資産売却損	681
固定資産除却損	5,923
特別損失合計	6,604
税金等調整前四半期純利益	900,991
法人税等	179,295
四半期純利益	721,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	721,696

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	
四半期純利益	721,696
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△10
退職給付に係る調整額	63,259
その他の包括利益合計	63,248
四半期包括利益	784,944
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	784,944
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

1. 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社山徳及び株式会社着物インターナショナルを連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を2020年6月30日としており、かつ四半期連結決算日との差異が3ヵ月を超えないことから、第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表の作成に伴い、インターピア株式会社及び株式会社トップブックスを持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により資本金が198,597千円、資本剰余金が198,597千円増加しております。

また当社は、2020年5月28日開催の定時株主総会において、今後の財務戦略上の柔軟性及び機動性を確保すること等及び欠損填補を目的とする資本準備金の額の減少及び剰余金処分について決議し、2020年7月2日に効力が発生しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,493,489千円、資本剰余金が1,254,896千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

当社グループは、マルチパッケージ販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。